

# きぼう

明石市立大久保北中学校 第1学年  
学年通信 第87号  
平成31年2月 5日(火)

“人間独り立たず”まわりの自然や多くの人々に支えられて今日あることに感謝しよう。  
学校ホームページ URL : [http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr\\_okbn/](http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_okbn/)



## 楽しかった「スキー実習」

～ 自治活動ができた ～

ハチ高原での2泊3日のスキー実習が終わりました。今年のハチ高原は雪がたくさん降り、気温もちょうどよくスキーをするには絶好のコンディションでした。2日目の午後には吹雪になることもありましたが、山の大自然の中に身を置いてのスキーが体験できました。初めての人も多く、足の痛みや疲れを出す人もいましたが、食事の時の食欲には驚きました。おかわりの大行列。元気に予定通り全行程を終えることができました。

今回の取り組みでは、実行委員を中心に各係が各活動場面で主役になって行動できました。担当の先生方と綿密な打合せと準備を行ってきた成果です。200人を超える集団が一つの取り組みをする際、一人一人の意識向上の大切さがわかったと思います。

日を追って行動が良くなり、自治活動らしさが見えてきました。「私語をしない」「時間を必ず守る」「自分から動く」「自分の仕事をやり通す」など一人一人が考えながら行動していましたが、今度は日常生活の場で実践していきましょう。行事の時だけでなく、**日常の場でできてこそ本物となる**のです。

### スキー実習を振り返って

このスキー実習で僕はレク係として頑張りました。係の仕事というのはスキー実習が始まり、レクリエーションが始まってからやろうとしても絶対できません。他の係もそうですが、特にそうです。バスレク内の動画の撮影や雪上レクの企画提案などいろいろなことをスキー実習前からずっと行っていました。HRでは企画の要項説明をし、みんなの意見も採用しながら楽しめるように企画を考えました。このような準備があったからレクリエーションが楽しくできたのだと思います。レク係のように他の係もスキー実習前から準備を頑張っているから他の係の企画にも協力しました。一人一人が何かの係で頑張ってくれたからこそ思い出に残るスキー実習になったのだと思います。このスキー実習を終えて学んだことは誰もが何かみんなのために頑張ってくれているから、他の人が何かをしようと提案したら進んで協力すると良い集団ができると思います。これを普通の学校生活にも生かせるように頑張ります。



今回のスキー実習では学んだこと、反省をして改善すべきところを見つけることができた。まず、一人一人が時間を意識をして行動することで班、クラス、学年がまとまってくることが分かりました。それを意識するだけで場の雰囲気が変わったり、あとの行動がキビキビすることも分かりました。行く前には意識できなかったことがこの3日間でできるようになりました。しかし、2日目、3日目になると気が緩んでしまい私語が多くなったのが反省です。誰かが私語をしていたらそれを注意できるようになりたいです。そして、自分が私語をしていたらそれを先生や周りの人に注意されるのではなく自分で気づけるようになりたいです。このスキー実習で学んだこと、改善したいことは他にもあります。私はそれらを今後の学校生活にいかしていきたいです。自分の事はもちろん、周りのことも考えて行動できるようになって、それを周りにどんどん広めていきたいです。



僕はこのスキーで2つのことを学びました。1つ目はスキーの楽しさです。リフトで上まで上がって滑ってという繰り返しだったけれど、滑り方が変わったり、スピードを上げたりとだんだんレベルが上がってきました。それと、少しでもふざけたり軽い気持ちしていると事故につながるという恐ろしさも学びました。リフトはとても高さがあって怖かったです。ドイツ人のインストラクターさんは色々なことを教えてくれて、少しずつ上手になっていったと思います。ストックなしでも滑りました。2つ目は集団行動の大切さです。2組はスキーに行く時に並んでいなかったり、食事の場所に戻っても私語をしている人がいて部屋に戻されたり、色々なことで注意を受けたと思います。全員が集団行動の大切さを理解して行動していれば、時間が無駄にならないし、自由な時間ももっと増えていたと思います。一人一人が意識をして行動すれば変わっていくと思います。このスキー実習では良かったこと改善しなければいけないことなど色々なことが見えたと思います。このスキー実習で学んだことをこれからの学校生活にいかしたいです。



このスキー実習で私は挑戦することの大切さを学びました。私はあまり運動が得意ではないので、このスキーも上手にできるか不安でした。しかし、インストラクターの方がドイツ人の方なのに頑張って体を使って教えてくれたり、その場を盛り上げてくれたり、同じの班の友達が助けてくれたのでスキーもだいぶ滑れるようになって、楽しめました。何事にも挑戦することが大切だと感じました。これからは大きな壁にぶつかってしまった時も、こんなことはできない、無理に決まっていると決めつけずにやってみよう、はじめの一歩を踏み出してみることにしたいです。このスキー実習で学んだことを次に進級したときにも生かせるようにがんばります。  
〔次号につづく〕

